

コンソーシアムの現在の 実施体制及び運用状況

1. 那須塩原市の目指す姿

1. 那須塩原市の目指す姿(① CO2排出量実質ゼロ宣言)

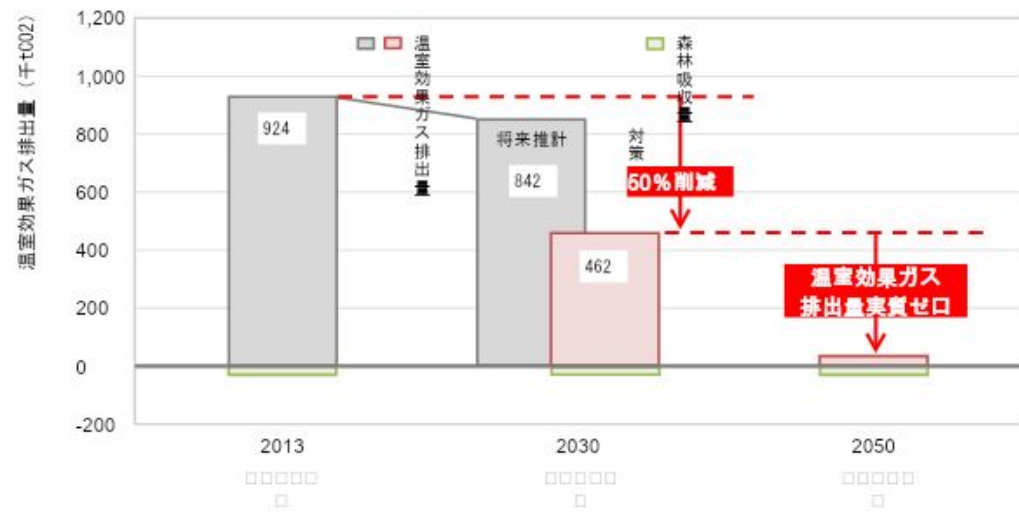
那須塩原市は、地球温暖化などの地球規模の課題を地域レベルで考え、これらの課題への理解や問題意識を深める契機として、**2050年までにCO2排出量実質ゼロ**を目指すことを2019(令和元)年12月3日に宣言しました。

CO2排出量実質ゼロ宣言

2019年12月3日
「CO2排出量実質ゼロ」宣言



中間目標 (2030年度)	平成25(2013)年度比で 50% 削減
長期目標 (2050年)	温室効果ガス排出量 実質ゼロ



渡辺美知太郎 市長

ホームページURL : <https://www.city.nasushiobara.tochigi.jp/soshikikarasagasu/cn/CO2sakugen/5654.html>

1. 那須塩原市の目指す姿(②那須野が原グリーンプロジェクト)

また、令和2年4月に気候変動対策局を設置し、気候変動対策に積極的に取り組んでいます。市民が「ここに住んでいれば生き延びられる」と実感できるように、持続可能なまちの構築に向けて「那須野が原グリーンプロジェクト」を策定しました。

那須野が原グリーンプロジェクト

「ここに住んでいれば生き延びられる」持続可能なまちの構築

- 脱炭素社会への取組による資源や経済の地域内循環の実現
- 市民に身近な適応策の推進により気候変動影響を回避又は軽減
- 積極的な環境政策による付加価値創出で選ばれるまちに

4つのテーマ

- | | |
|------------------|----------------|
| ①地域の再生可能エネルギーの活用 | ②施設、設備の省エネルギー化 |
| ③気候変動影響への適応 | ④分野横断的事項 |

1. 那須塩原市の目指す姿(③ 2050 Sustainable Vision 那須塩原)

さらに、環境部門において更なる連携を図り、これらの相乗効果による同時実現を目指すため、「ネイチャーポジティブ」、「カーボンニュートラル」及び「サーキュラーエコノミー」の3つを柱として環境施策を推進していくことについて、2050年における本市のあるべき姿とその取組を、

2050 Sustainable Vision(サステナブルビジョン) 那須塩原～環境戦略実行宣言～として2023(令和5)年9月に公表しました。

サステナブル ビジョン 2050 Sustainable Vision 那須塩原 ～環境戦略実行宣言～



2. コンソーシアムの設立目的

2. コンソーシアムの設立目的

那須塩原市ゼロカーボン・コンソーシアム 規約 第2条抜粋

(目的)

会員相互の情報交換や事例提供などの連携を通じて**地元事業者による地域の脱炭素化に向けた事業**を支援し、もって、2050 Sustainable Vision 那須塩原の1つの柱であるカーボンニュートラル、すなわち**脱炭素社会の実現**に資することを目的とする。

また、この目的の達成において**ネイチャーポジティブ**や**サーキュラーエコノミーの達成**にも寄与することを目的とする。

①CO2排出量実質ゼロ宣言

⇒本コンソーシアムの取組を通じて、**2050年のカーボンニュートラル実現**を目指す

②那須野が原グリーンプロジェクト

⇒地元事業者のつながりを作り、**脱炭素取組に関する地域内の経済循環**を目指す

⇒脱炭素経営により**新たな付加価値を創出**し、持続可能な経営の実現を支援する

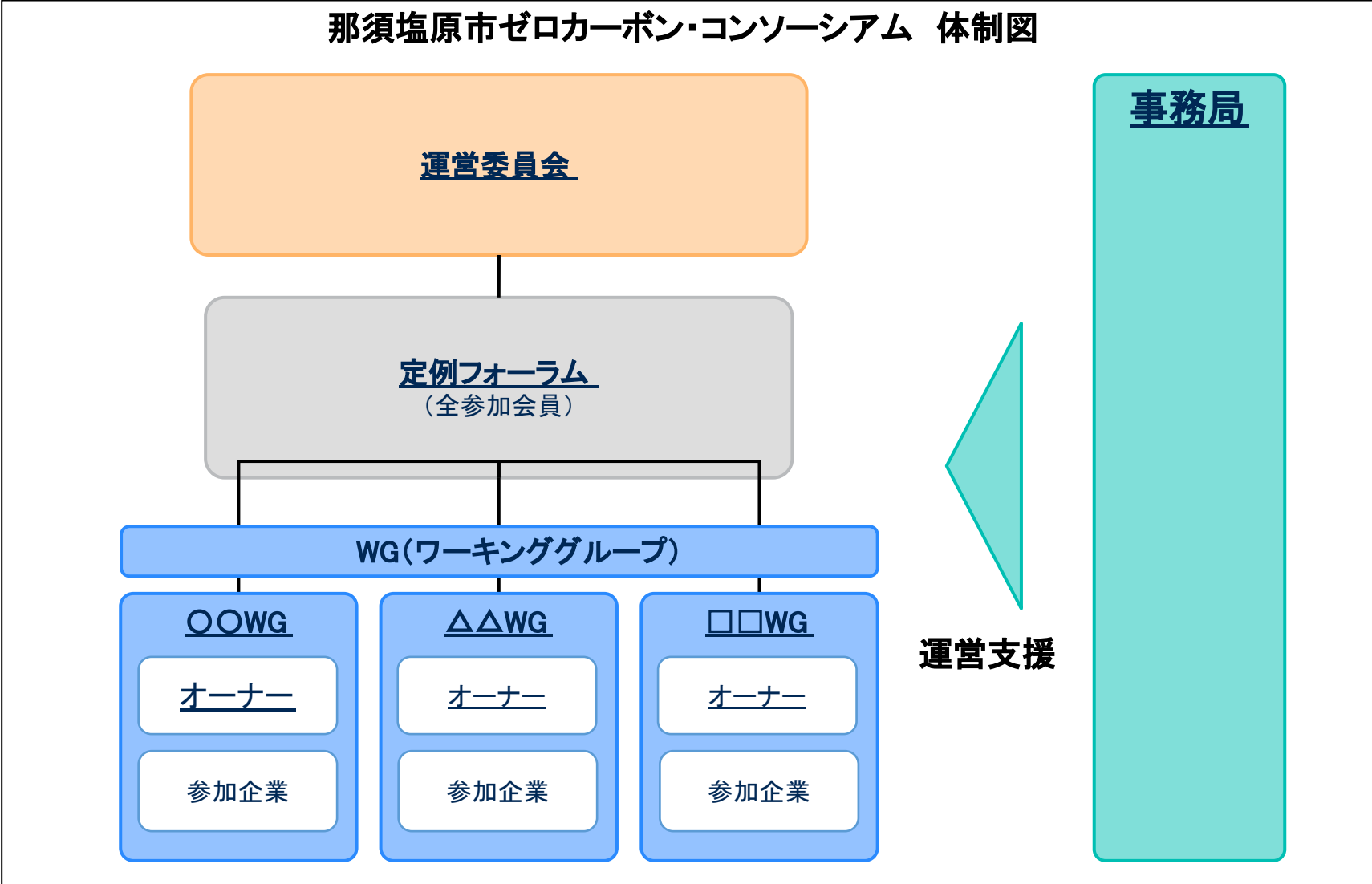
③2050 Sustainable Vision 那須塩原

⇒**他の環境施策とトレードオフにならない**、環境戦略の推進を目指す

3. コンソーシアムの実施体制と内容

3. コンソーシアムの実施体制と内容(体制図)

那須塩原市ゼロカーボン・コンソーシアム 実施体制



3. コンソーシアムの実施体制と内容(定例フォーラム)

那須塩原市ゼロカーボン・コンソーシアム 規約 第6条第2項抜粋
(定例フォーラム)

定例フォーラムは、市内事業者に向けた**脱炭素経営に関する情報発信及び普及活動**並びにワーキンググループの成果報告を行う

■定例フォーラムの目的

市内事業者に対して、セミナーや勉強会を通して脱炭素経営の必要性やメリットを理解してもらい、具体的な脱炭素経営の取組への関心度を高める。

■定例フォーラムの機能



①勉強会

脱炭素経営の必要性や
メリットを紹介し、
機運を醸成



②参加企業の 成果報告

すでに脱炭素経営に取り組み
メリットを享受している
事業者の成果を共有



③支援メニューの 紹介

実行に向けて活用できる
県や市の支援メニューを
紹介

3. コンソーシアムの実施体制と内容(ワーキンググループ)

那須塩原市ゼロカーボン・コンソーシアム 規約 第5条第1項抜粋
(ワーキンググループ)

主となる活動の場として**テーマの異なるワーキンググループ**を複数設け、勉強会を実施する。

■ワーキンググループの目的

市内事業者の具体的な脱炭素取組に対する理解を深め、実行するきっかけをつくる。またその取組を市内中に拡大させる。

■ワーキンググループの機能



①勉強会

取組を実行するための
知見・ノウハウを学び
理解を深める



②参加企業同士の 相談・情報共有

取組の計画・実行・継続、
様々なフェーズでの
課題感を共有



③支援団体の 取組支援

実行に向けた
相談対応・情報提供
(補助施策の紹介等)

4. 次年度以降の実施スケジュール

4. 次年度以降の実施スケジュール

令和7年度以降の勉強会は、以下のスケジュールを予定しております。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和6年度												● 第1回定例 フォーラム 開催
令和7年度			● 第2回定例フォーラム開催				WG開催				● 第3回定例 フォーラム 開催	
令和8年度	令和7年度と同じ											